独立行政法人国際協力機構（JICA）沖縄センター

2026 年度　ブラジル派遣　参加学生募集要項

「オキナワ・沖縄の過去・現在・未来. ～琉球の伝統文化を軸に未来を作ろう～」事業
（通称：ウチレガ！ブラジル・文化芸能版）

琉球の文化・芸能を学ぶ高校生・大学生を、ブラジルへ 12 日間派遣します。

ブラジルには約 18 万人の沖縄県系人が暮らし、エイサー、琉球舞踊、三線、空手などが 100 年以上にわたって受け継がれてきました。2026 年はブラジル沖縄県人会の創立 100 周年、そして 2027 年には第 8 回世界のウチナーンチュ大会が沖縄で開かれます。

一方で、沖縄とブラジルの双方に、同じ課題があります。沖縄では、伝統文化・芸能を教える人も、学び続ける人も減っています。大会のような大きな行事があっても、その場かぎりで終わってしまいがちです。ブラジルでは、踊りや曲の「やり方」は 100 年受け継がれてきた一方で、それがどういう意味を持ち、どんな歴史から生まれたのかという背景までは伝わっていません。そして双方に共通して、次の世代を引っ張る若い担い手が足りていません。

そこでこの事業では、沖縄で琉球の文化・芸能を学ぶ皆さんがブラジルを訪ね、現地の同世代と一緒に移民の歴史を学び、演舞を見せ合い、教え合います。そのうえで、大会とその先に向けて、これから 3 年間に日本とブラジルの若者で何をしていくかという「3 年間の文化交流中期計画」を、皆さん自身の手で作っていただきます。

この事業が求めているのは、琉球舞踊、組踊、エイサー、三線・民謡、太鼓、空手などを実際に稽古している皆さん、これから先もその道を続けていきたいと考えている皆さんです。今回は沖縄の伝統文化・芸能の指導者 2 名が皆さんと一緒にブラジルへ渡ります。事業が終わったあとも、その指導者と皆さんとで、沖縄とブラジルをつなぐ活動を続けていっていただきたいと考えているからです。

「見に行って帰ってくる」事業ではありません。帰ってきてから何をするかを、現地の仲間と一緒に決めて、上に書いた課題を一緒に引き受けてくださる皆さんの応募をお待ちしています。

１．募集人数

学生 6 名

※　このほかに伝統文化・芸能の指導者 2 名が同行します。指導者は公募によらず選出します。

２．応募資格

次のすべてに当てはまる方が応募できます。

（1）沖縄県内の高等学校、大学、大学院、短期大学、高等専門学校又は専修学校等に在籍していること（2027 年 3 月の時点で在籍していること）。

（2）琉球舞踊、組踊、エイサー、三線・民謡、空手、太鼓など、沖縄の伝統文化・芸能を学んでいること（学校の部活動・コース、研究所、地域の団体等は問いません。年数や技量の水準は問いません）。

（3）後記「４．事業の日程」に示す事前研修（3 回）、ブラジル派遣（12 日間）、帰国後研修（2 回）及び報告会のすべてに参加できること。

（4）有効なパスポートを持っているか、2027 年 1 月末までに取得できること（残存有効期間は帰国日から 6 か月以上あることが必要です）。

（5）未成年の方は、保護者の同意が得られること。また、高校生の方は、在籍する学校の学校長の推薦が得られること（いずれも参加申込書に記入欄があります）。

（6）心身ともに健康で、往復約 30 時間の長距離移動及び 12 日間の海外滞在に支障がないこと。

（7）帰国後、報告会での発表、業務完了報告書への原稿の執筆、ご自身の学校・地域・SNS 等での発信に取り組む意欲があること。

※ポルトガル語や英語の能力は必要ありません。現地では通訳が付きます。

※高校 3 年生及び大学 4 年生の方は、進路・受験・学年末試験の日程と重なる可能性があります。応募の前に学校及び保護者とよく相談してください。

３．派遣先・派遣期間

項目	内容
派遣先	ブラジル連邦共和国（サンパウロ市及びカンポ・グランデ市）
派遣期間	2027 年 2 月 13 日（土）～2 月 24 日（水）　12 日間（往復の移動日を含む）
主な宿泊	ホテル（学生は 2 名 1 室を想定）、カンポ・グランデでのホームステイ（2 泊。ブラジル沖縄県人会関係者のご家庭を予定）
引率	株式会社沖縄映像センターの業務総括者 1 名及び伝統文化・芸能の指導者 2 名が全行程に同行します。

※　現地情勢や受入機関の状況により、日程・訪問先が変更となる場合があります。

４．事業の日程

ブラジルへ行く期間だけではなく、次の日程のすべてが事業の一部です。

時期	内容	場所
2026 年 12 月 26 日（土）	事前研修　第 1 回（終日） ・沖縄移民の歴史とウチナーネットワーク ・ブラジル県人会の現状と現地調査結果の共有 ・渡航の準備と安全対策 ※保護者説明会を同日に行います。	JICA 沖縄
2027 年 1 月 11 日（月・祝）	事前研修　第 2 回（終日） ・記録と発信の基礎（何を・誰を・どの順序で記録するか、肖像権の取扱い） ・ブラジルで披露する演目とワークショップ内容の決定 ・3 年間の文化交流中期計画の論点整理	JICA 沖縄
2027 年 2 月 7 日（日）	事前研修　第 3 回（オンライン・半日） ・ブラジル側の若手・県人会役員との顔合わせ ・現地での分科会テーマの決定、中期計画の素案づくり	オンライン
2027 年 2 月 13 日～24 日	ブラジル派遣（12 日間）	ブラジル
2027 年 2 月下旬	帰国後研修　第 1 回（終日） ・持ち帰った記録の整理 ・3 年間の文化交流中期計画の完成 ・報告会の発表準備	JICA 沖縄
2027 年 3 月上旬	帰国後研修　第 2 回／報告会 ・報告会での発表（県内の関係機関・交流団体の方々、報道機関を招きます） ・沖縄県交流推進課、世界のウチナーンチュ大会事務局、各市町村への報告	JICA 沖縄
2027 年 3 月	業務完了報告書への原稿の執筆	―

※事前研修（3 回）は、土曜日、祝日及び日曜日に実施します。時間は第 1 回・第 2 回が 10 時 00 分～16 時 00 分、第 3 回が 14 時 00 分～16 時 00 分の予定です。

※「（予定）」と記した帰国後研修及び報告会の日程は、決まりしだいお知らせします。学校の授業・行事と重なる場合の取扱いは、学校長の承諾を得たうえで調整します。

５．ブラジルでの主な活動（予定）

日程	主な活動
1～2 日目 2/13～14	那覇発／サンパウロ着。サンパウロ人文科学研究所の見学、リベルダージ地区（日系人街）散策、ブラジル日本移民史料館の見学
3～6 日目 2/15～18	JICA ブラジル事務所でのブリーフィング、海外協力隊の活動現場の視察、沖縄県南米駐在員事務所・ブラジル沖縄県人会本部の訪問、ブラジル沖縄文化センターの訪問、県人会支部の訪問、芸能披露（学校、高齢者施設等での慰問）、伝統文化ワークショップ、JICA 帰国研修員・県費留学生・市町村海外子弟等研修生との交流
7～9 日目 2/19～21	カンポ・グランデへ移動。琉球の文化・芸能を学ぶ現地の若手との交流（3 グループに分かれて実施）、ホームステイ（2 泊。ブラジル沖縄県人会関係者のご家庭を予定）、伝統文化ワークショップ
10～12 日目 2/22～24	JICA ブラジル事務所への報告、ブラジル発、那覇着

【ワークショップは「教え合い」で行います】

沖縄側が演舞や所作を教える時間と、ブラジルで独自に発展した形をブラジル側が教える時間を対にして行います。技術だけでなく、「なぜその所作なのか」という意義と歴史を共有することを中心に置きます。

【３グループの交流は「中期計画を決める場」です】

現地の若手と 3 つのグループに分かれ、①世界のウチナーンチュ大会で一緒にできること、②文化・芸能を継続して学び合う仕組み、③日伯双方への発信、の 3 つのテーマを話し合い、それぞれが中期計画の一部を担います。

６．費用

渡航及び研修参加に必要な次の費用は、JICA が負担します。

区分	内容
JICA が 負担するもの	・ブラジルへの渡航旅費（航空賃） ・ブラジル滞在中の宿泊費（学生は 2 名 1 室を想定） ・ブラジル滞在中の日当 ・出発時及び帰国時の自宅⇔最寄り空港の交通費 ・事前研修、帰国後研修及び報告会に参加するための交通費（自宅⇔JICA 沖縄） ・海外旅行保険
自己負担と なるもの	・パスポートの取得・更新に係る費用 ・個人的な支出（土産代、通信費、自由時間の費用等） ・事業の日程外に生じた費用

※参加費・プログラム費はいただきません。

※ブラジル入国に必要な手続（査証等）については、参加者が決まりしだい当社から案内します。

７．応募方法

（1）提出書類

「参加申込書」（別紙）１通のみです。次のとおり記入してください。

	記入する方	内　容
Ⅰ～Ⅶ	応募者本人	基本情報、健康に関すること、学んでいる伝統文化・芸能、設問（１）～（５）、日程への参加、面接の希望
Ⅷ	保護者	応募の許可（未成年の方のみ）
Ⅸ	学校長	応募の推薦（高校生の方は必須。大学等に在籍の方は任意）
Ⅹ	応募者本人	個人情報の取り扱い及び肖像権使用の承諾（回答必須）

※参加申込書は当社ウェブサイトからもダウンロードできます。印刷して手書きで記入しても、パソコンで入力しても構いません。

（2）選考で特に重視する設問

参加申込書Ⅳの設問のうち、選考で特に重視するのは次の 2 つです。

（1）あなたがこの事業に応募しようと思った動機（150 字以内）

（5）この事業で日伯の若者とともに作る「3 年間の文化交流中期計画案」を、帰国後、どこで、誰に向けて発信していきたいか（400 字以上）

※（5）は、学校での報告会、部活動や研究所での共有、地域の行事、SNS、新聞やテレビなど、思いつく場を自由に書いてください。「どこで発信したいか」を考えていることが、この事業で最も大切な資質です。

（3）提出期限

2026 年 11 月 30 日（月）必着

（4）提出先・提出方法

郵送、持参又は電子メールのいずれでも受け付けます。

郵送・持参	〒900-0011　沖縄県那覇市上之屋 1 丁目 18 番 36 号 株式会社沖縄映像センター　営業部　ウチレガ！ブラジル担当　宛 （封筒の表に「募集要項在中」と朱書きしてください）
電子メール	r-tamaki@ovic.co.jp （件名を「ウチレガ！ブラジル応募」としてください。Ⅷ・Ⅸを記入済みのものをスキャン又は写真で送信いただいて差し支えありません）

8．選考

（1）選考の方法

段階	内容	時期
書類選考	提出書類により選考します。応募者が募集人数を超える場合に行います。	2026 年 12 月 1 日（火） ～12 月 4 日（金）
面接	書類選考を通過した方に対して行います。JICA 沖縄センターの職員が面接を担当します。所要時間は 1 人 15 分程度です。 面接は原則として対面（JICA 沖縄センター）で行います。離島に在住の方、学校の日程と重なる方は、オンラインで対応します。	2026 年 12 月上旬 ※日程及び方法は、書類選考の結果とあわせてお知らせします。

※　面接に伴う交通費は、JICA の規程に基づき支給します。

（2）選考で重視すること

（ア）帰国後に、自分の言葉で発信していく意欲があること（参加申込書の設問（5）の記載内容を重視します）。

（イ）沖縄の伝統文化・芸能を実際に学び、続けていること。

（ウ）事前研修から報告会までのすべての日程に参加できること。

（エ）同世代の仲間や現地の方々と協力して、一つのものを作り上げる姿勢があること。

※技量の高さや経験年数を競う選考ではありません。学ぶ分野（琉球舞踊、組踊、三線（古典・民謡）、胡弓、笛、太鼓、空手、エイサー等）、学校・地域、学年の偏りが生じないよう配慮して選考します。

（3）結果の通知

選考の結果は、2026 年 12 月上旬に、応募された方全員に書面でお知らせします。電話等でのお問い合わせにはお答えできません。

9．参加にあたっての留意事項

（1）【学校の取扱い】事前研修、派遣期間及び帰国後研修は、学校の授業日と重なります。公欠等の取扱いについては、応募の前に必ず在籍する学校に確認してください。学校へのご説明が必要な場合は、当社が学校に対して直接説明いたします。

（2）【健康・安全】参加申込書に、健康状態、既往症、アレルギー（食物・薬のほか、ホームステイ先での飼育を考慮し猫・犬等の動物アレルギーを含みます）、常用薬を正確にご記入くだ

さい。渡航前に安全対策研修を行い、外務省の海外旅行登録（たびレジ）への登録及び緊急連絡網の整備を行います。現地では単独行動を禁止します。

（3）【記録・肖像権】研修及び現地活動の様子は、写真・映像で記録し、JICA 及び沖縄県等のウェブサイト、報道機関への提供、報告書、教材映像等に使用します。使用の目的は参加申込書Ｘに記載していますので、内容をご確認のうえ、同欄にご記入ください（未成年の方は保護者の承諾が必要です）。

（4）【報告書】事業終了後に業務完了報告書を作成します。参加者の皆さんには原稿の執筆をお願いします（当社が書き方を支援します）。

（5）【個人情報】提出いただいた書類の記載内容は、JICA の内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき適切に管理し、本事業の選考、連絡、渡航手続（航空券・海外旅行保険の手配）、ホームステイ先の調整及び報告書の作成の目的に使用します。法令に基づく場合を除き、第三者に提供しません。詳しくは参加申込書Ｘをご確認ください。提出書類は返却いたしません。

（6）【日程の変更・中止】現地情勢、感染症の発生状況、災害等により、日程の変更又は事業の中止・延期を行う場合があります。

10. お問い合わせ

企画・運営	株式会社沖縄映像センター　営業部 〒900-0011　沖縄県那覇市上之屋 1 丁目 18 番 36 号 電話　098-868-4779　／　ファクス　098-861-6678 電子メール　r-tamaki@ovic.co.jp 受付時間　平日 9 時 00 分～17 時 30 分
主催	独立行政法人国際協力機構（JICA）沖縄センター 〒901-2552　沖縄県浦添市前田 1143-1

本事業は JICA 沖縄センターが実施し、株式会社沖縄映像センターが企画・運営管理を行っています。